

Week of December 8, 2024 - Don't Judge Prematurely　　Small Group Lesson 10

知り合う

私たちの教会の人々に多様性があることについて、あなたはどんなことを感謝していますか？

聖句　コリントの信徒への手紙　第一 4:1-5（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1こういうわけですから、人は私たちをキリストに仕える者、神の秘義の管理者と考えるべきです。2この場合、管理者に求められるのは、忠実であることです。3あなたがたに裁かれようと、人間の法廷で裁かれようと、私は何ら意に介しません。私は、自分で自分を裁くことすらしません。4私には少しもやましいことはありませんが、それで義とされているわけではありません。私を裁く方は主です5ですから、主が来られるまでは、何事についても先走って裁いてはいけません。主は、闇に隠れた事を明るみに出し、人の心の謀をも明らかにされます。その時には、神からそれぞれ誉れを受けるでしょう。

簡潔に状況をもう一度確認してください。そのことは、どのように励ましや挑戦、慰めなどを与えますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

１：『キリストに仕える者』であり、『神の秘儀の管理者』であるとはどういう意味でしょうか？これらはどのように異なりますか？なぜパウロは同じ人に対してこのふたつの表現を使ったのでしょうか？（1節）

２：パウロは、キリスト教の信仰について教える者には『ひとつの』ことが求められると言います。それは何でしょうか？（2節）

３：私たちや私たちの働きについて、他の人々の評価を気にしすぎないこは、なぜ重要なのでしょうか？（3-4節）

４：『先走って裁く』とはどういう意味ですか？また、なぜそれを避けるべきなのでしょうか？（5節）

分かち合い

今週のメッセージのこの箇所について話し合いましょう：
メッセージの中で、武牧師は、クリスマス礼拝のとき、会堂が満席だったので、人々を中に入れなかったアッシャーが批判されたという話を用いました。
この話は、他人からの批判に気を取られることなく、神と他者に仕える働きに集中することの重要性について、どのようなことを示しますか？

話し合いのテーマ：
どうすれば、私たちは教会の中にある文化、賜物、働きの多様性を、自分のものと異なっていても、より感謝することができるでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。